

地方共助社会づくり懇談会in福島

福島の復興に向けた 市民活動の動向

認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
大久保 朝江

杜の伝言板ゆるるの事業概要

■情報発信■

月刊杜の伝言板ゆるる
の発行

A4版16ページ
10,000部
350カ所で無料配布

■人材育成■

- 高校生の夏ボラ体験
- NPO訪問バスツアー
- 中間支援組織サポート

■NPOマネジメント■

- NPO法人会計基準の普及
(NPO会計サポーター養成)
- 認定NPO法人の普及

- みやぎNPO情報
ネットの運用
- One to Oneの
隔月発行

- 50歳からの
NPO実践塾
- NPO夜学

- 専門相談
労務・会計/税務・運営
- 会計講座
- NPOマネジメント講座

NPO法人ICT
支援NPOネッ
トワーク宮城

NPO法人
パートナー
シップなとり

みやぎNPOプラザの運営 (2005年4月～指定管理者)

「3.11 東日本大震災」

- 発生時刻：平成23年3月11日(金) 14時46分
 - 震源地：三陸沖 深さ10km マグニチュード9.0
 - 震度7 栗原市築館
 - 震度6強 登米市、大崎市、名取市、塩竈市、東松島市、涌谷町、仙台市宮城野区蔵王町、山元町、大衡村
 - ※沿岸部に甚大な津波被害
-
- 発生時刻：平成23年4月7日(木) 23時32分
 - 震源地：宮城県沖 深さ約40km マグニチュード 7.4
 - 震度6強 栗原市、仙台市宮城野区

宮城県 死者:9,538人 行方不明者:1,258人

(2014.11.1現在)

震災直後からこれまでの活動

杜の伝言板ゆるるの 発災直後の支援活動

- ・ **みやぎNPOプラザ**は、ガラス100枚程度破損したが
電気及び水道が復旧 3月16日から日中のみ開館
- ・ **災害ボランティアセンターへスタッフ派遣**
3/17～岩沼市、名取市、利府町に各1名を約1週間
3/29～宮城県災害ボランティアセンターに3週間
(週4日1名)
- ・ 3/19～4月中旬 インテル等企業と災対本部、避難所
を繋ぎ、避難所へパソコン設置 (34ヶ所に57台)

■県内のNPOは大丈夫か？

3/17～3/31

NPOへの安否確認および活動状況を調査

約350団体 ⇒ 電話やメール

約270団体と連絡が取れた

⇒ 102団体が既に活動再

⇒ **37団体が被災地で救援活動**

**救援に入ったNGO以外にも
宮城のNPOも動いている！と伝えたい**



ホームレス支援団体

日頃から、仙台中心部で炊き出しや衣類の提供を実施。
米、水、食材などを備蓄。
電気釜や大鍋を保有。
被災地支援は、全国のホームレス支援団体や、フードバンクなどと連携

子育て支援団体

NPOが指定管理をしている児童館
乳幼児の親や妊婦を対象にした避難所





当初は石巻や南三陸町、気仙沼にマスコミ報道が集中し、注目度が低く、救援物資が少なかった山元町、亘理町を目指して、救援に入った。

特に、自宅に避難した人への支援を重点的にした。

NPOは津波で浸水したが、働く人や自宅の片付けなどで忙しい親の支援のため、保育園を無料で実施(石巻)





救援物資を集めて届ける、県南白石市の地域づくりのNPO

全国のネットワークから届けられた救援物資を配る仙台のホームレス支援NPO



多様な媒体で情報発信

- 3 / 1 6 新たにブログを立上げ、発信
「東日本大震災 みやぎのNPO活動情報」
- 3 / 1 7 事務局ブログ「ゆるブロ」にて
災害関連情報を連日掲載 ⇒108件
- 4 / 7 月刊ゆるるる 発行

宮城県内の高齢者・障がい者支援
事業者の

NPOの被災状況調査(2011.4)

宮城県の介護保険事業者と障害者の自立支援事業者の中からNPO法人111団体を抽出。
FAXまたはメールにてアンケート調査
応答総計:51団体

(1) 建物被害

51団体中32団体が被害有

- ・津波により流失・・・4団体
- ・津波により1階浸水により
損壊・・・5団体
- ・地震により損壊・・・5団体
- ・被害小(100万以内の補修)
・・・18団体

(2) 間接被害状況

51団体中39団体が被害有

- ・10～20%売上減少
・・・・14 団体
- ・30%売上減少・・・・8団体
- ・40%売上減少・・・・8団体
- ・50%以上売上減少
・・・・9団体

企業や助成財団からの資金を
NPOに繋いだ

被災したNPOへの募金サイト

東日本大震災
～被災したNPOへの募金サイト～



①トップページ ②復興みやぎとは ③寄付の方法 ④お問い合わせ ⑤English

宮城の被災NPOにも寄付を!

3.11の大地震は、被災地のNPOをも地震や津波が襲いました。利用者やスタッフが亡くなったり、建てたばかりの施設を流したり、4階部分に落ちて壊されたりと、NPOのメンバーは、心身ともにダメージを受けました。しかし、被災後4ヶ月が過ぎ、「少しでも早く、被災地の活動を始め、地域の復興に貢献したい!」と、前向きに歩き始めました。

でも、活動するための環境が整っていません。資金が必要です!

被災地の復興は地域のNPOが力をつけて貢献するために、皆さまからの支援をお願いいたします!

被災NPO一覧

		
どんぐりの岩	いわいわ	いわなべりーすみちもんせん
		
みずい	いわの	いわなべ
		
住居災害対策財団のほろもろ山	鶴ヶ谷のまちまじいランド	みやぎ身体障害者サポート会
山	まじ	まじ

最新情報

2012年05月28日 [特活] 農業会の状況を更新しました。
2012年05月28日 [特活] どんぐりの岩の状況を更新しました。
2012年05月28日 [特活] みやぎ身体障害者サポート会クラブの状況を更新しました。
2012年04月27日 [特活] ささき野山元の状況を更新しました。
2012年04月24日 [特活] 鶴ヶ谷の状況を更新しました。
2012年04月09日 [特活] 農業会の状況を更新しました。
2012年04月05日 [特活] どんぐりの岩の状況を更新しました。
2012年04月04日 [特活] みやぎ身体障害者サポート会クラブの状況を更新しました。
2012年03月19日 [特活] 農業会の状況を更新しました。
2012年03月19日 デジタルカード決済が再開しました。
2012年03月15日 [特活] 鶴ヶ谷のまちまじいランドの状況を更新しました。
2012年02月02日 [特活] いわなべりーすみちもんせんの状況を更新しました。
2012年01月27日 [特活] 鶴ヶ谷の状況を更新しました。

継続されたボランティア活動



瓦礫撤去のボランティアを受け入れ



仮設住宅で パラソル喫茶を 開催



被災者と共に
グッズづくり



1年が過ぎて

専門性を持ったNPOによる
ボランティア活動に変化



傾聴ボランティア
寄り添って話を聞く

子どもや肉親を
亡くした人々による
“わかち合い”





歴史資料の保全活動
丹念に汚れを落とし

被災地では被災者による
NPO法人設立が増える



石巻市

高齢者・障害者・
生活困窮者への
移動サービス



南三陸町

地元若者による障
がい児の支援事業
を開始

3年半がたった被災地のNPO

- まちづくり、居場所づくり、子ども育成などの分野は、これまで助成されやすい環境だった
 - 多くが人件費、家賃などの管理費として助成が認められた
 - 助成金の減額や採択件数が激減
 - ⇒ 自立運営できるか
 - ⇒ 身近な人々に対して、ボランティアや寄付の呼びかけができるか
- が問われている

月刊ゆるるる「特集」

⇒「3.11 あの時、

NPOはどう動いたか」

冊子発行

- 2011.5~2013.12 特集で掲載したNPO50団体を追加取材し、冊子のまとめた。
- 震災以前から活動していたNPOは、救援及び復興にどうかかわってきたかを記録。



復興に向けての 市民活動の課題

復興への課題

- 経済の活性化
- 雇用促進

しかし

- 過疎化
 - 少子高齢化
- への対応

高齢化社会への対応

- 平成27年4月 介護保険制度改正
- 要支援1・2の予防給付(訪問介護・通所介護)を市町村の地域支援事業に移行

⇒NPO、民間企業、住民ボランティア、協同組合などの民間が行う多様なサービスに期待

多様な主体による生活支援サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援



- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生涯現役コーディネーター（仮称）」の配置や協議体の設置などに対する支援

生活支援サービスの提供イメージ



バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化（コーディネーターの配置、協議体の設置等を通じた住民ニーズとサービス資源のマッチング、情報集約等）

➡ 民間とも協働して支援体制を構築

H15年から介護保険外のサロン やミニディサービスを開設

NPO法人FOR YOU にこにこの家(仙台市)



モデル的事業
の事例

にこにこの家

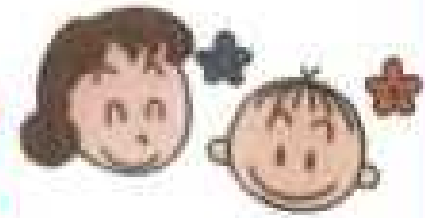


サロンとミニディサービス
仙台市:230万円補助金
(家賃と利用者補助)
利用者:1200円の負担+同額補助



NPO法人 FOR YOU

にこにこの家



この地域の中でいつまでも暮らしていただきたいあなたを応援します!!

にこにこ倶楽部

● にこにこサロン < 月 >
(カルチャーサロン)

● にこにこくらぶ < 火・木 >
(ミニティサービス)

● ランチ茶屋にこにこ < 月・火・木 >
(スローフードランチ)



ほっとネット In
栗中田 事務所

東四郎丸児童館
TEL/FAX 242-2845

にこにこの家 TEL/FAX 241-0858



工阿けやき 障
連絡先:242-8090

障がい者の皆さんが伝統工芸品「下鶴」、オリジナルの木工品や手芸品、共通入浴剤を製作しております。

ソレイユ 障
連絡先:241-1046

障がいのある人も、ない人も安心して暮らす、生き生きとした生活が過ごせるよう自立に向けての支援をしています。
作業内容
①火曜日…カレーライスの製造・販売
②水・木・金曜日…お弁当の製造・販売

ひまわり会 障
連絡先:241-0320(四部丸小学校内)

東中田地域に居住する障がい児・者への支援するために、春・夏・冬の長期休暇中のお楽しみ会や交流会などを行っています。

ふれあいの森 障

①向日葵ファミリー (741-2888)
お弁当販売・障害をお持ちの方のガー生懸命作った日替わり弁当を販売しています。(月曜～金曜)
②向日葵ライフサポートセンター (741-2880)
障害をお持ちながら地域生活を営む方、及びそのご家族の抱える困りごとの解決に向けて支援を行う所です。お気軽にご相談・ご来所ください。(年中無休9:00～17:00)

ケアステーション四部丸 障
連絡先:306-2050

四部丸市営住宅のケア付き住宅に入居している方へケアサービスを提供しています。障がい福祉サービスについて気軽に相談してください。

ばるけ南仙台 障児
連絡先:395-9343

平成19年4月に開所いたしました。障がい児の放課後等デイサービスを行っています。放課後や長期休暇を通し、工作やおやつ作り、散歩や公園など、子どもに合わせた活動をしています。

だんでらいおん 障
連絡先:741-2541

平成16年4月1日に開所しました。心の病で悩んでいる仲間たちが社会復帰に向けて頑張っている場所です。地域生活支援センターとグループホームを運営しています。

まどか 障
連絡先:306-4620

ベリーカフェプラン
①月曜日～金曜日:10時～16時 (月曜日はカフェのみ営業)
②土曜日:10時～14時 定休日:日曜・祝日
常時40種類の焼き立てパンを販売しています。お近くにお越しの際はぜひ立ち寄りください。

仙台ワークキャンパス 障
連絡先:741-0998

平成21年5月に開所した障害福祉サービス事業所及び障害者支援施設です。
①「れすとらん和味(なごみ)」和食レストラン (11:30～16:00 定休日:日曜日・祝日)
②「印刷部」:カラーオンデマンド印刷機での名刺・はがき・切符・会報・チラシなどの印刷
③「地域交流ふれあいホール」:地域のサークル活動等にホールを貸し出しています。

地域包括支援センター 高

地域の高齢者の方の身近な相談窓口として、保健・医療・福祉等に関する相談を受け支援します。
連絡先 四部丸・東四部丸小学校区 (四部丸地域包括支援センター) 242-6351
袋原小学校区 (袋原地域包括支援センター) 393-6533

福寿会 高

連絡先:241-0155(代表:武田節子)
東中田地区に根ざして求められる福祉に関するボランティアを行っています。会員は融和を図り奉仕の精神と実技を研鑽しております。

民生委員・児童委員 地 児 高

民生委員児童委員・主任児童委員があなたの相談相手です。
◎皆さんが抱える問題について一人で悩まないで気軽に相談してください。
連絡先 中田第一地区 241-T165 (吉田 ヤス子)
中田第三地区 242-0878 (中村 正三)

ここにこの家 地 高 障
連絡先:241-0858

～みんなが気軽につどえるところです～
◎介護予防事業(ミニデイサービス)
(月)民謡・フラダンス教室
(火)カラオケ・はりねなど
(木)おでかけ・野外活動
(土)子ども茶室(ここにこの家)のほほ

東中田町内会連合会 地
連絡先:241-5996

四部丸小学校区と東四部丸小学校区の16町内会の連合会です。住みやすいまち作りのために福祉と防災のネットワークを強めていきます。
連絡先:連合会副会長 大野 真知子

東中田市民センター 東中田児童館 地 児
連絡先:242-1185

市民センターは地域の方が気軽に集い学べる場として、児童館は乳幼児を持つ子育て中の方や小学生～高校生が利用できる場として、色々な行事を開催しています。
市民センター:月曜休館 (月曜が祝日の場合金曜日)
児童館:日・祝日休館

袋原コミュニティ児童館 児
連絡先:241-8701

仙台市から委託を受けている住民運営型の児童館です。
◎児童クラブ・幼児クラブ・放課後子ども教室
◎「みんな一緒心の居場所・児童館」地域の方と共に、心の居場所を共有できる児童館を目指します。

東四部丸児童館 児
連絡先:242-2845

「いつでも遊びに来られる児童館」子育て・子育て・児童の健全育成等に取り組む、たくさんの人々とつながり合える児童館を目指しています。
◎子育て支援室ma・fu・ma
のち〜東中田っ子(小・中・高校生ボランティア)のち〜ことうちゃん(父親も子

多様な主体と連携し、この地域の福祉を支える

共助社会づくりの担い手として NPOが活動を継続していくには

●事業性がある活動

⇒社会的課題の解決を目標とし、人的態勢や
資金計画などしっかり経営基盤を作る
CB／SB 制度に基づく事業など
助成金、融資、クラウドファンディング・・・

●収益を生み出さない活動

収入の確保が難しい

寄附に応える市民を増やす

収益を生み出さない活動をする団体が、市民活動を継続していくための環境とは・・・

- 地域の課題に取り組む団体の存在を認め、信頼し、その担い手としての参画や、活動を継続するための資金の援助をしてくれる市民が増えていくこと。

⇒市民のボランティア参加や市民の寄附

- そのような市民の環境が醸成しなければ市民活動団体は期待に応えられない。

しかし、信頼を得ることが必須

- 資金の流れを公開
 - ⇒ NPO法人活計基準に準拠した報告
- 認定NPO法人制度の活用
 - ⇒ 寄付者にとって優遇税制
- 情報発信をこまめに
 - ⇒ ブログ ホームページ facebook

では、
地域でだれが担うのでしょうか。
それは市民の皆さんです。

間もなく、少子高齢化と労働力不足の時代。
無いものねだりはできません。

だから

例えば、定年になったらキャリアを活かし、
子育てが終わったら、得意分野で

地域の担い手に。

期待しています！